

令和3年度山形県立米沢栄養大学入学者選抜にかかる変更点について
(前年度入学者選抜からの変更点)

令和2年7月21日
訂正 令和2年7月29日
山形県立米沢栄養大学

1. 入試改革に伴う試験名称等の変更

※『平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告の改正について』

(文部科学省高等教育局長 H30.11.22 通知) 参照

- ・大学入試センター試験 → 大学入学共通テスト
- ・一般入試 → 一般選抜
- ・特別入試 → 特別選抜
(推薦入試 → 学校推薦型選抜、社会人入試 → 社会人選抜)
- ・評定平均値 → 学習成績の状況

2. 試験科目・配点について

試験科目について、前年度から変更はありません。

配点について、前年度から一部変更し、次のとおりとします。

試験区分		大学入学共通テスト				個別学力検査等		合計
		国語	数学	理科	外国語 (英語)	小論文	面接	
一般 選抜	前期日程	100点	100点	200点	150点	150点		700点
	後期日程	100点	100点	100点	100点		150点 (200点)	550点 (600点)
特別 選抜	学校推薦型 選抜					110点 (120点)	90点 (80点)	200点
	社会人選抜							

※前年度から変更あった個所のみ、前年度を()で表示。

3. 一般選抜について

(1) 配点について

後期日程では、基礎的な知識・技能や思考力・判断力等を重視するため、大学入学共通テストの各教科の配点と面接の配点を「2. 試験科目・配点について」にある表のとおりに変更します。

(2) 大学入学共通テストの外国語（英語）について

大学入学共通テストの外国語について、本学では英語を指定しているところ、リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の比重は、前期日程、後期日程ともに 3 : 1 とします。

配点は前年度と同じで、前期日程は、リーディングの得点に 9/8 を乗じたものとリスニングの得点に 3/8 を乗じたものの合計を得点（配点 150 点満点）とします。後期日程は、リーディングの得点に 3/4 を乗じたものとリスニングの得点に 1/4 を乗じたものの合計を得点（配点 100 点満点）とします。

前年度は、大学入試センター試験の外国語（英語）の筆記 200 点とリスニング 50 点の合計を前期日程、後期日程の配点に置き換えていたところ、入試改革の趣旨に鑑み、リスニングの比重を前年度より大きくします。

なお、英語民間試験の活用は行いません。

(3) 面接の評価について

従来からの面接の評価項目（4 項目：①意欲、②理解力、④自己認識の明確さ、⑤プレゼンテーション及びコミュニケーション能力・態度）について、透明性を高めるため明記します。

加えて、入試改革の趣旨に鑑み、「学力の 3 要素」のうちの「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価することとし、面接の評価項目として「③学習や活動等への取り組み方」を追加します。

なお、調査書は、面接の参考として利用します。

4. 特別選抜について

(1) 配点について

入試改革に伴い、「学力の 3 要素」のうちの「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため、面接において「学習や活動等への取り組み方」を評価することとし、「2. 試験科目・配点について」にある表のとおりに変更します。

具体的には、面接の配点を 90 点（従来 80 点）に変更します。相対的に、適性検査の配点を 110 点（従来 120 点）に変更します。

(2) 適性検査について

「化学」の出題範囲について、高等学校指導要領の「化学基礎」レベルを基本とし、一部発展問題を出題します。

従来から、「化学基礎」レベルに加えて、一部発展問題を出题しており、その旨を説明会やオープンキャンパス等で口頭にて説明していたところ、この点を明記します。出題範囲に変更はありません。

(3) 面接の評価について

従来からの面接の評価項目（4項目：①意欲、②理解力、④自己認識の明確さ、⑤プレゼンテーション及びコミュニケーション能力・態度）について、透明性を高めるため明記します。

加えて、入試改革に伴い、「学力の3要素」のうちの「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価することとし、面接の評価項目として「③学習や活動等への取り組み方」を追加します。当該評価項目に関しては、調査書等（学校推薦型選抜では『調査書』、『志願理由書・活動報告書』、『推薦書』。社会人選抜では『履歴書・志願理由書・活動報告書』。）の記載内容を参考に、特に『志願理由書・活動報告書』や『履歴書・志願理由書・活動報告書』の記載項目の「これまでに取り組んだ学習や活動等の内容」に記載された内容を参考に、以下の内容について評価します。

人間、健康、栄養そして食に関する学びについて評価します。また、管理栄養士（栄養教諭を含む。）という専門職につきたいという強い意志と、適性や素養を磨こうとする自発性、更には、人とのかかわりを大切にし、論理的な思考をもって自ら学んだことを生かして地域と社会に貢献したいという意欲と情熱を評価します。

具体的には、「総合的な学習の時間」等において取り組んだ課題研究や教科学習、学校行事、生徒会活動、資格・検定、部活動、各種大会、コンクール、地域活動、ボランティア活動、学校内外でのその他の活動について、どのように取り組み、工夫し、又は努力し、その活動の中でどういった知識や経験、学び等が得られ、それらを入学後あるいは将来にどう役立てていきたいかという意志を評価します。

(4) 様式の変更について

従来の様式『志願理由書』を『志願理由書・活動報告書』に、『履歴書・志願理由書』を『履歴書・志願理由書・活動報告書』に改め、これまでに取り組んだ学習や活動等の内容についての記載項目を追加します。

「志願した理由」についての記載項目は、従来どおり、本学を志願する理由を、入学後専念したいことや将来の進路希望に触れながら記載することとします。

一方、「これまでに取り組んだ学習や活動等の内容」についての記載項目は、(3)にある表を参考に記載することとします。

5. 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価について

単に取得した成果や成績、資格、賞等を評価するのではなく、それに向けて、どのように取り組み、工夫し、又は努力したかというプロセスや、その活動の中でどういった知識や経験、学び等を得られたかということ、更には、それらを入学後あるいは将来にどう役立てていきたいかという意志を評価します。

6. 新型コロナウイルス感染症対策等

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に十分に配慮し、入学者選抜を実施します。

また、入学者選抜の試験区分ごとに、新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者の受験機会を確保するため、追試験等を設定する予定でいます。詳細は決まり次第、学生募集要項又は本学ホームページ等でお知らせします。

なお、今後の感染状況によっては、試験期日や選抜方法等を変更する場合があります。